

Leaders
in Trusted
Technologies

NISSHA

2026年12月期
第1四半期
決算説明会

2026年5月12日

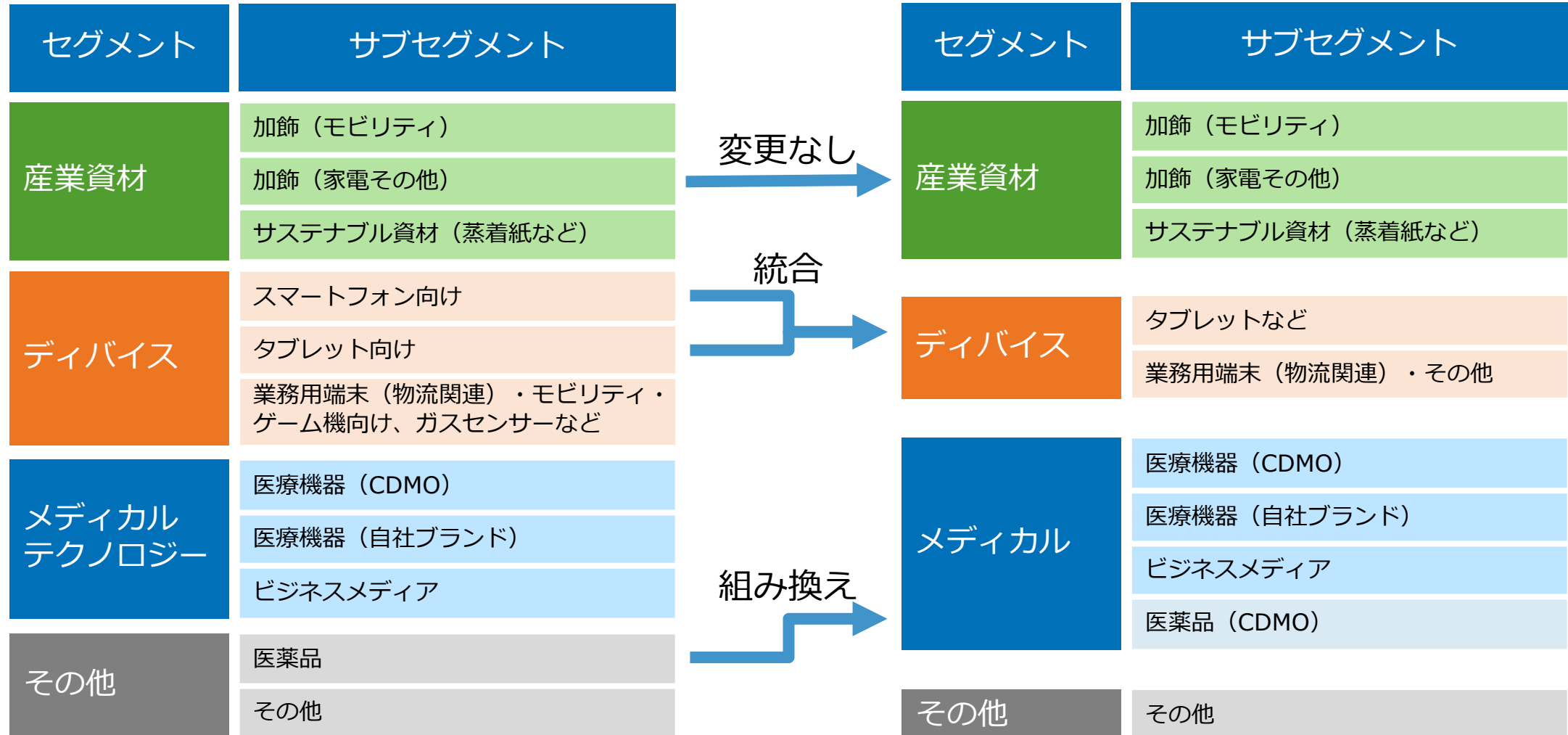
NISSHA株式会社

代表取締役社長 最高経営責任者

鈴木順也

開示セグメントの変更

- メディカルテクノロジー事業と医薬品（CDMO）を「メディカル」セグメントとして統合



ハイライト

2026年12月期 第1四半期の実績

- 全社：売上高は前回予想を上振れ、営業利益は赤字計画から黒字化
- 産業資材、デバイス：前回予想比で業績は上振れ、営業利益が改善
- メディカル：医療機器CDMO、一般用医薬品CDMOの需要が堅調に推移

2026年12月期の見通し

- 業績計画：Q1の上振れによりH1を上方修正
- Q2～Q4は中東情勢の影響によるコスト上昇リスクを業績計画に織り込み
- 通期売上高 1,980億円、営業利益 70億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 32億円
- 為替前提：Q2は155円/USD（期初計画145円/USD）、H2は145円/USD（期初計画を維持）

トピックス

- 開示セグメントを変更（前ページ）

2026年12月期 Q1（3カ月）の実績

(百万円)

	2025 Q1 実績	2025 Q4 実績	2026 Q1 前回予想	2026 Q1 実績	前年同期比 (2025 Q1比)	前四半期比 (2025 Q4比)	前回予想比
売上高	47,442	49,627	40,800	45,790	▲3.5%	▲7.7%	+12.2%
産業資材	18,785	19,240	17,600	19,529	+4.0%	+1.5%	+11.0%
デバイス	13,558	14,625	9,000	10,400	▲23.3%	▲28.9%	+15.6%
メディカル	13,625	13,973	12,700	14,134	+3.7%	+1.2%	+11.3%
医療機器	11,948	12,083	11,000	12,337	+3.2%	+2.1%	+12.2%
医薬品	1,676	1,890	1,700	1,797	+7.2%	▲4.9%	+5.7%
その他	1,473	1,787	1,500	1,727	+17.2%	▲3.4%	+15.1%
営業利益	1,432	532	✓▲500	✓750	▲47.6%	+41.0%	✓黒字化
営業利益率	3.0%	1.1%	-1.2%	1.6%	-1.4pt	+0.5pt	+2.8pt
産業資材	1,012	747	✓300	✓708	▲30.1%	▲5.2%	✓+136.0%
デバイス	865	663	✓▲300	✓392	▲54.6%	▲40.8%	✓黒字化
メディカル	742	✓489	800	✓841	+13.3%	✓+71.9%	+5.1%
その他	▲171	▲147	0	99	黒字化	黒字化	-
調整額	※1 ▲1,016	※3 ▲1,220	▲1,300	※5 ▲1,290	-	-	-
税引前利益	※2 592	※4 1,337	▲850	※6 751	+26.8%	▲43.8%	黒字化
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	12	496	▲1,400	422	+3358.6%	▲14.8%	黒字化
為替レート（平均）	¥153/\$	¥150/\$	¥145/\$	¥155/\$			
為替レート（直前期末→当該期末）	¥158/\$→¥150/\$	¥149/\$→¥157/\$		¥157/\$→¥160/\$			

※1 為替差損 ▲2.5億円含む

※2 為替差損（金融費用）▲5億円含む

※3 津工場再稼働に伴う旧設備の減損損失▲7億円、為替差益 3億円含む

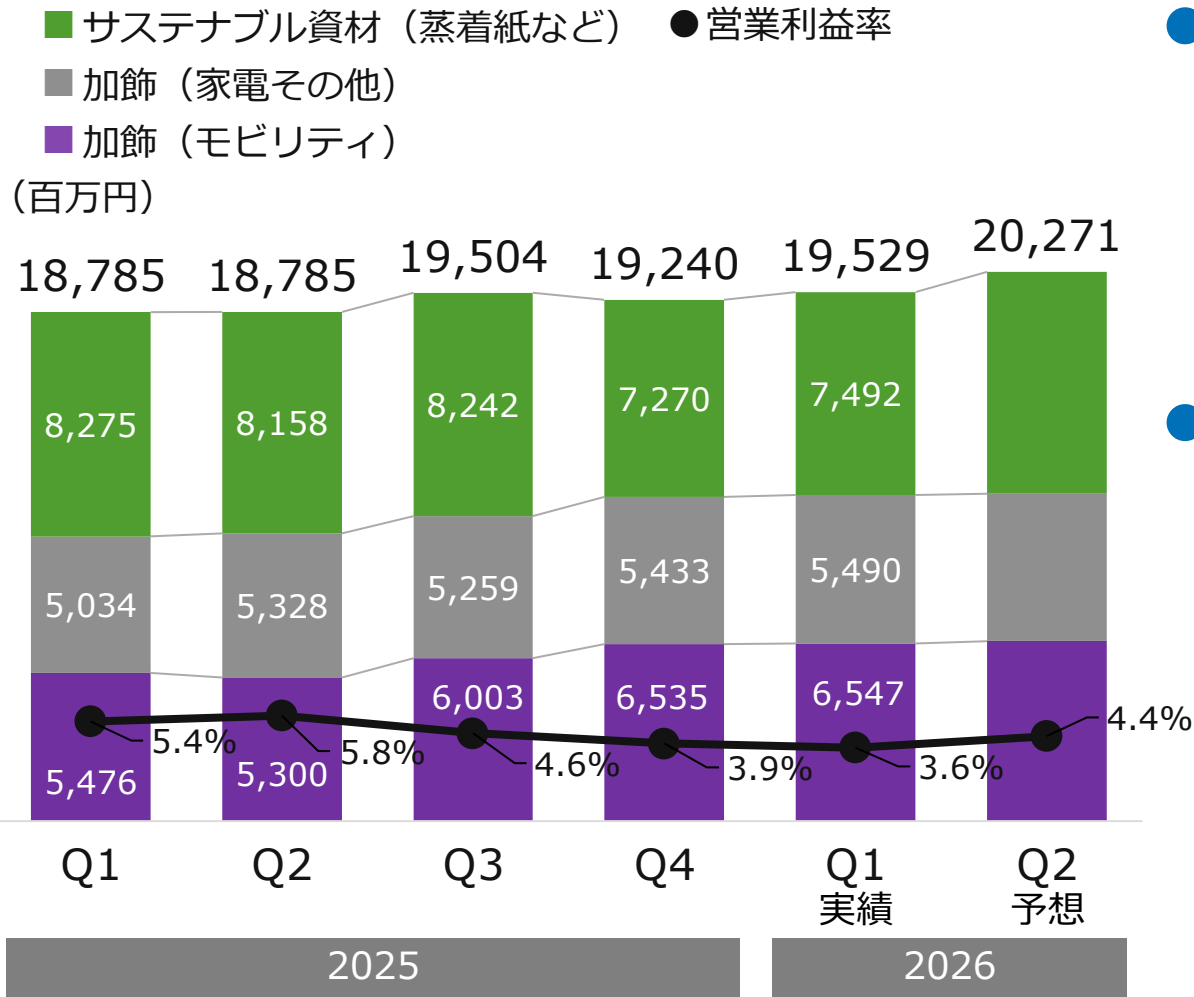
※4 金融負債の公正価値評価益 6.5億円、為替差益（金融収益）5.5億円含む

※5 為替差損▲0.5億円含む

※6 為替差益（金融収益）3.5億円含む

産業資材： Q1実績、Q2予想 (QoQ)

四半期別 売上高・営業利益率

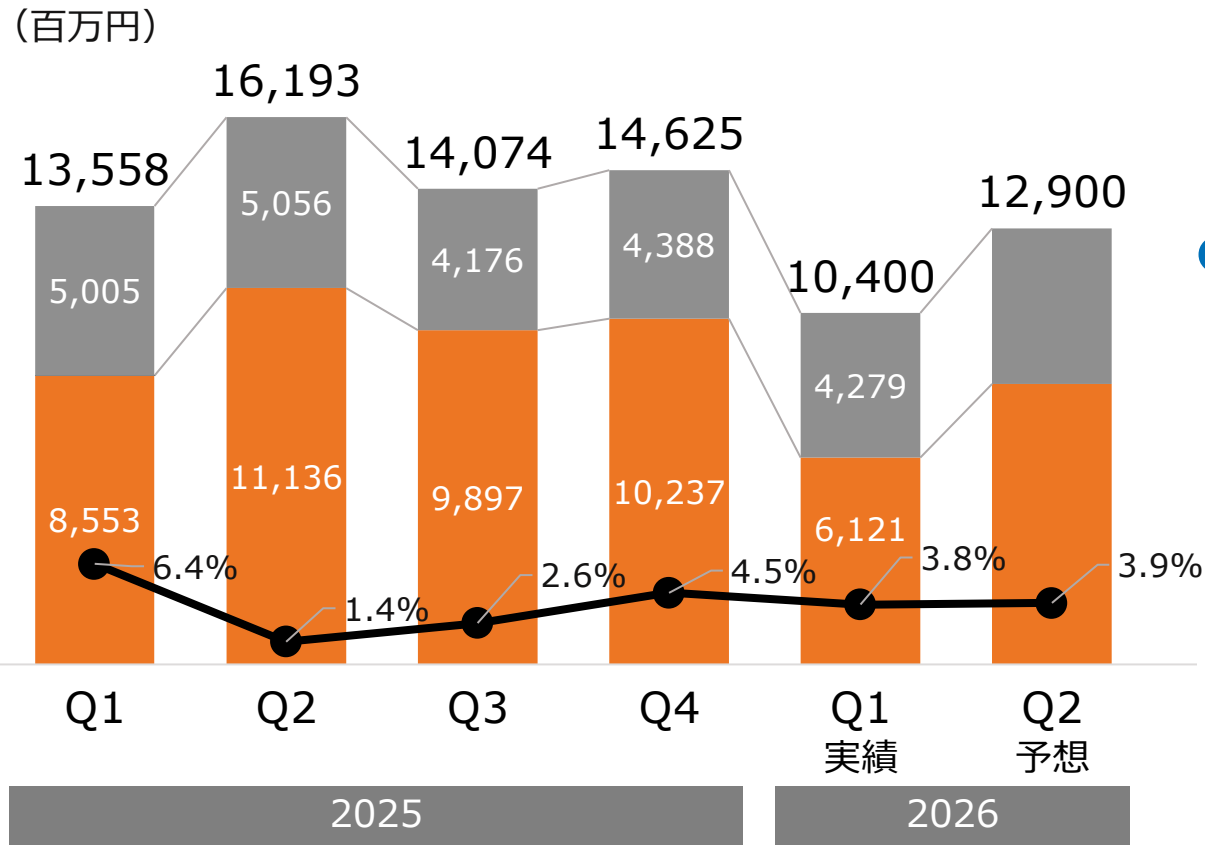


- Q1実績 (為替レート： ¥155/\$)
 - 加飾： モビリティ、家電ともに堅調需要が継続
 - サステナブル資材 (蒸着紙)： 需要が回復基調
 - 営業利益： 前回予想を上振れ
- Q2予想 (想定為替レート： ¥155/\$)
 - 加飾： モビリティ、家電とも安定的に推移
 - サステナブル資材： 回復基調
 - 営業利益： 需要増加により収益性改善

デバイス： Q1実績、Q2予想 (QoQ)

四半期別 売上高・営業利益率

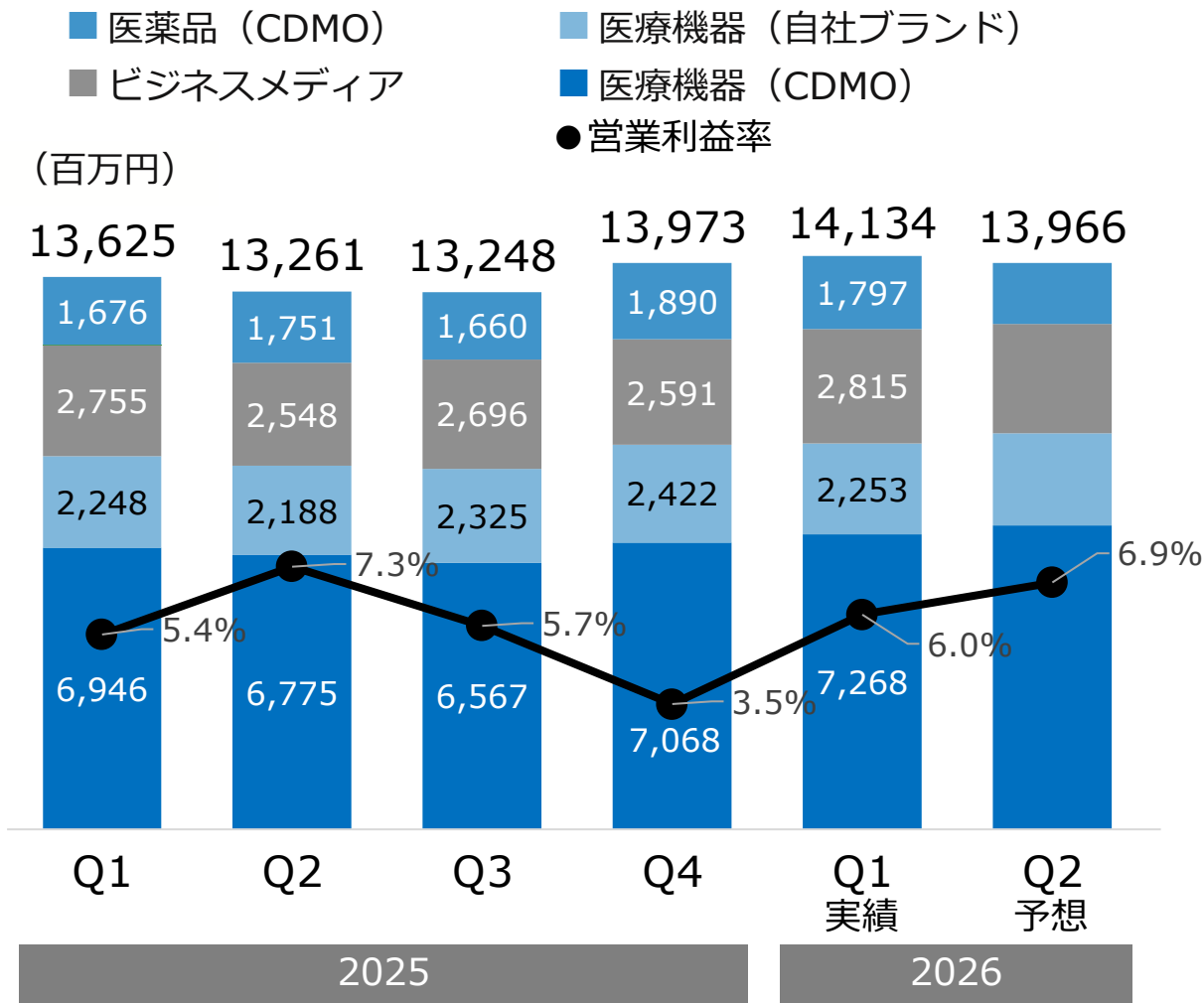
■ 業務用端末（物流関連）・その他 ● 営業利益率
 ■ タブレットなど



- Q1実績 (為替レート： ¥155/\$)
 - タブレット： 大幅減少も前回予想を上振れ
 - 営業利益： 生産平準化により需要減少に対処、黒字を確保、前回予想を上振れ
- Q2予想 (想定為替レート： ¥155/\$)
 - タブレット： 需要回復
 - 業務用端末： 堅調な需要が継続
 - 営業利益： 企業買収の費用（1.3億円）を計上見込み

メディカル： Q1実績、Q2予想 (QoQ)

四半期別 売上高・営業利益率



- Q1実績 (為替レート： ¥155/\$)
 - 医療機器 (CDMO)： 需要堅調
 - 一般用医薬品CDMO： 需要堅調
 - 営業利益： 前Q発生の一過性費用が減少し、収益性改善、前回予想通り
- Q2予想 (想定為替レート： ¥155/\$)
 - 医療機器 (CDMO)： 需要改善
 - 一般用医薬品CDMO： 設備更新に伴う稼働低下、前回予想通り
 - 営業利益： 前回予想通り

2026年12月期 業績計画

(百万円)

	前回計画 (2/12発表)			今回計画 (5/12発表)		
	FY2026 通期 計画	FY2026 H1 計画	FY2026 H2 計画	FY2026 通期 計画	FY2026 H1 計画	FY2026 H2 計画
売上高	191,500	87,500	104,000	198,000	94,000	104,000
産業資材	78,600	37,000	41,600	81,400	39,800	41,600
デバイス	52,600	21,900	30,700	54,000	23,300	30,700
メディカル	54,600	25,900	28,700	56,800	28,100	28,700
医療機器	47,200	22,700	24,500	49,300	24,800	24,500
医薬品	7,400	3,200	4,200	7,500	3,300	4,200
その他	5,700	2,700	3,000	5,800	2,800	3,000
営業利益	6,600	900	5,700	7,000	1,800	5,200
営業利益率	3.4%	1.0%	5.5%	3.5%	1.9%	5.0%
産業資材	4,000	1,200	2,800	4,200	1,600	2,600
デバイス	2,600	300	2,300	3,000	900	2,100
メディカル	4,300	1,800	2,500	4,200	1,800	2,400
その他	▲200	▲100	▲100	▲200	▲100	▲100
調整額	▲4,100	▲2,300	▲1,800	▲4,200	▲2,400	▲1,800
税引前利益	5,000	100	4,900	5,700	1,300	4,400
親会社の所有者に帰属する 当期(中間)利益	2,300	▲1,100	3,400	3,200	300	2,900
為替レート(平均)	¥145/\$	¥145/\$	¥145/\$	¥150/\$	¥155/\$	¥145/\$

経営説明会を開催

事業ポートフォリオの強化／医療機器CDMOアップデート

- 開催日時
 - 7月7日（火） 11:00-12:30
- 開催形式
 - 会場開催・ライブ配信
- 説明会会場
 - 新丸ビルコンファレンススクエア
- 出席予定者
 - 代表取締役社長 最高経営責任者 鈴木 順也
 - 取締役 専務執行役員 最高戦略責任者 渡邊 亘
 - 上席執行役員 メディカルテクノロジー事業部長 ブランドン・ホフマン
 - コーポレートコミュニケーション部長 阪口 隆平

(ご参考)
設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・
研究開発費（2026年）

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績
設備投資	2,334
減価償却費 及び償却費	2,562
M&A投資	648
研究開発費	766

Leaders in Trusted Technologies

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。